

羽村市フットサル大会 少年用ローカルルール（基本）

羽村市サッカー協会少年部

審判部会

平成 18 年 2 月 5 日制定

平成 19 年 2 月 1 日改正

平成 20 年 2 月 2 日改正

1. 少年用ローカルルール（基本）の趣旨

たった一発のロングシュートよりも、ドリブルやたくさんのパスワークにより、フェアプレーの精神、技術の向上等を主眼とする。

2. キックオフ

キックオフから直接、得点はできない。

（本来は、キックオフから直接、得点はできるが、小学生の高学年において、キックオフの蹴り合いになり、試合の面白みに欠けるため）

キックオフから直接ゴールインした場合は、相手方のゴールクリアランスで再開する。但し、ゴールインする前に、競技者に触れた場合は、ゴールインとする。

3. キックイン（11人制におけるスローインの意）

キックインは、ボールをタッチライン上に置き、静止してキックする。

キックイン時、キッカーの軸足はピッチの中に完全に入ってはならない。

キックインから直接、得点はできない。

キックイン時、相手側競技者は、ボールから 2 m 以上離れなければならない。

4. コーナーキック

コーナーキックから直接、得点ができる。

コーナーキック時、相手側競技者は、ボールから 5 m 以上離れなければならない。

5 . ゴールクリアランス (1 1 人制におけるゴールキックの意)

ゴールクリアランスは、手でペナルティエリアの外に投げる。

(足で蹴ってはいけない)

ゴールクリアランスは直接、ハーフウエーラインを越えてはならない。但し、ハーフウエーラインを直接越えた場合は、直近のハーフウエーライン上より、相手方の間接フリーキックで再開する。

インプレー中にペナルティエリア内で、キーパーが保持したボールを手で投げる場合も、ハーフウエーラインを直接越えてはならない。但し、キーパーが保持したボールを、ドロップキックで蹴った場合は、ハーフウエーラインを越えても良い。

6 . フリーキック (直接・間接)

フリーキック時、相手方競技者の位置は、5 m以上ボールから離れる。ペナルティエリア内の間接フリーキックを行なう時、距離が5 m以上取れない場合、壁の位置はゴールラインとする。

7 . 反則と不正行為

1 1 人制ルールと一緒にあるが、フットサルは、特に正当なるショルダーチャージとスライディングタックルは反則である。

オフサイドは、適用しない。

8 . 4 秒ルール

キックイン・直接、間接フリーキック・ゴールクリアランス・ペナルティエリア内で、キーパーが保持したボールは4秒以内でプレーを再開しなければならない。但し、キックオフは4秒ルールに該当しない。

の反則の再開方法は、

- 1 . キックインは、相手方のキックインとなる。
- 2 . 直接、間接フリーキック及びゴールクリアランスは、相手方の間接フリーキックとなる。
- 3 . コーナーキックは、違反のあったコーナーから相手方のコーナーキックとなる。(間接フリーキックではない。)

9. 交代の手続き

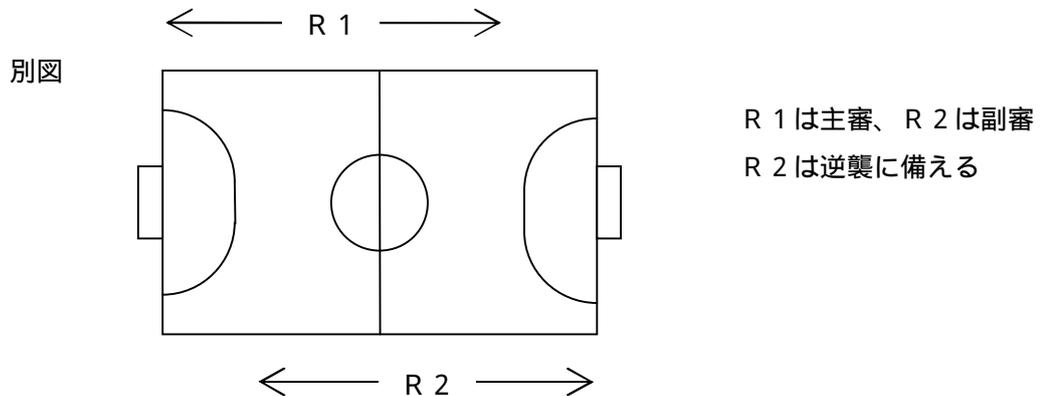
選手の交代は、インプレー・アウトオブプレーに係わらず、随時交代できるが、交代する場合は、交代ゾーンから交代選手が出てから、交代要員が入る。

10. 審判員

審判員は、主審 1 名、副審 1 名とし、出来る限り選手を挟むような位置を取る。

キックオフの笛、ゴールインの笛とタイムキーパーは、主審が行なう。

(ゴールインの場合の笛は、主審と副審が互いに確認の上、主審が吹く)。その他の反則行為の笛は、主審・副審のジャッジにより各自で笛を吹く。主審と副審のポジショニング(移動範囲)は、別図のとおりとする。



11. ゴールキーパーの保護について

少年のフットサルにおいて、ゴールキーパーの怪我の防止のため、キーパーとの接触は、早めにジャッジする。(キーパーに対するファウルを適用する。)

12. その他、除外事項

反則の累積・タイムアウト・第 2 ペナルティマーク・2 分間のペナルティタイム、以上 4 点のルールは、適用除外とする。

13. ボールの規格

使用するボールは、フットサル用のローバウンドボールを使用し、空気圧は、海面の高さで 0.4~0.6 気圧(400~600g/平方センチ)とする。

14. ゴールの規格

ゴールは、ハンドボール用ゴールを使用する。

室内競技なので、運動マット等を使用して転倒を防止すること。

以上